



2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



2023年4月13日

上場会社名 株式会社トーセ

上場取引所 東

コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報グループ長 (氏名) 鈴木 喜代

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

2023年5月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	3,037	15.1	258	78.0	274	107.4	201	204.2
2022年8月期第2四半期	2,638	43.5	144		132		66	

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 304百万円 (274.8%) 2022年8月期第2四半期 81百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	26.62	
2022年8月期第2四半期	8.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	7,465	6,384	85.1
2022年8月期	7,284	6,206	84.4

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 6,355百万円 2022年8月期 6,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		12.50		12.50	25.00
2023年8月期		12.50			
2023年8月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,256	10.5	580	23.6	600	18.6	352	13.6	46.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期2Q	7,763,040 株	2022年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	2023年8月期2Q	183,100 株	2022年8月期	183,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期2Q	7,579,940 株	2022年8月期2Q	7,579,869 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年4月20日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、ウィズコロナ、アフターコロナの動きが進み、国内の景気持ち直しへの期待は高まってきています。一方で、長引く資源価格の高騰などによる物価上昇が顕著であり、先行きには注視が必要です。

当社グループが属するゲーム業界では、外出機会が増えたことによりゲームへの課金が減速しているとの見方がありますが、発売以来続いていたプレイステーション5の品薄状況が改善され国内外で販売数が増加してきており、対応するゲームソフトの発売や販売の増加も期待されています。

そのような状況のもと、当社グループでは中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、高度な開発技術や新規性のある事業への挑戦、業務品質の向上、人事制度における報酬・評価・教育の好循環実現、の3点に重点的に取り組み、事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、デジタルエンタテインメント事業のゲームソフト関連の開発を順調に進行できていることや、モバイルコンテンツ関連の運営業務も堅調であることなどから、売上高は30億37百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

利益面につきましては、前年同期にはモバイルコンテンツ関連の案件において開発上の不具合の改修作業が想定以上に発生し開発コストの増加がありましたが、プロジェクトマネジメントの強化を進めてきたことから当第2四半期連結累計期間ではトラブルによる大規模なコスト超過は一切発生しておりません。一方で、従業員に安心して就業し活躍してもらえるよう、急激な物価の高騰による生活への影響を軽減するため、全従業員を対象に一時金を支給しました。その結果、営業利益は2億58百万円(前年同期比78.0%増)、経常利益は2億74百万円(前年同期比107.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1百万円(前年同期比204.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

① デジタルエンタテインメント事業

ゲームソフト関連については、家庭用ゲーム機向けソフトの開発案件により稼働率が高い中、大規模なものを中心に引き続き複数の引き合いが寄せられており、開発リソースの割り当てなどが難しく受注に苦慮しております。現在進行中の開発は、マルチプラットフォームで展開する大型案件や、完成に近づいているNintendo Switch向けの案件、VRゲーム機向けの案件など、当初想定していた水準から大きな乖離等はなく進捗している状況です。その結果、売上高は19億52百万円(前年同期比30.2%増)となりました。

モバイルコンテンツ関連については、継続して委託いただいております運営業務は堅調に推移しており、新規の開発案件も複数進んでおります。しかしながら、前年同期には中止となった大型開発案件の売上計上があったためその反動減が影響し、開発売上が減少しました。その結果、売上高は8億94百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

それらの結果、当事業の売上高は28億46百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は、上述の通り前年同期に発生したスマートフォン向けゲームの改修コストの反動減により、2億25百万円(前年同期比119.2%増)となりました。

② その他事業

家庭用カラオケ楽曲配信事業については、対応機種であるNintendo Switch本体が販売台数を伸ばしてきたことが本サービスのユーザー増加にもつながっており、また年末年始のキャンペーンでユーザーの利用を促進できたことなどから、巣ごもり需要の減退による利用減少を一部カバーし、前年同期比微減に留まっております。SI事業では、当第2四半期連結累計期間に想定していた新規案件の一部の受注が延期となるなど現在一時的に収益は足踏み状態ですが、多方面へのご提案を継続し、中長期的な事業の拡大を見据えて取り組んでおります。一方で、グループ会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる制作事業で売上の増加があったことから、当事業の売上高は1億90百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は32百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して1億80百万円増加し、74億65百万円となりました。資産の部におきましては、売掛金及び契約資産、有価証券などが増加した一方で、現金及び預金、仕掛品などが減少したことにより流動資産が63百万円減少しております。また、投資有価証券などの増加により固定資産が2億43百万円増加しております。

負債につきましては、買掛金、未払法人税等が減少した一方で、その他の科目に含めて計上している未払消費税等が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、10億80百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことやその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1億78百万円増加し、63億84百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、15億82百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、89百万円（前年同期は2億44百万円の資金獲得）となりました。これは主に法人税等の支払額1億51百万円、売上債権の増加額1億16百万円などの資金の減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益3億6百万円、減価償却費46百万円などの資金の増加要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、53百万円（前年同期は2億58百万円の資金獲得）となりました。これは主に、定期預金払戻しによる収入1億87百万円などの資金の増加があった一方で、投資有価証券の取得による支出2億円などの資金の減少があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、94百万円（前年同期は94百万円の資金使用）となりました。これは、配当金の支払額94百万円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,089,202	1,841,220
売掛金及び契約資産	1,880,973	1,997,883
有価証券	101,563	203,404
仕掛品	78,611	33,320
その他	93,717	104,774
貸倒引当金	△1,250	△1,200
流動資産合計	4,242,819	4,179,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,315,826	1,316,905
減価償却累計額	△825,314	△841,901
建物及び構築物（純額）	490,511	475,004
工具、器具及び備品	252,634	259,659
減価償却累計額	△227,419	△231,878
工具、器具及び備品（純額）	25,214	27,781
土地	709,565	709,565
その他	71,252	71,715
減価償却累計額	△68,725	△54,699
その他（純額）	2,526	17,015
有形固定資産合計	1,227,817	1,229,366
無形固定資産		
ソフトウェア	17,112	76,155
ソフトウェア仮勘定	65,983	4,216
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	85,231	82,507
投資その他の資産		
投資有価証券	529,755	775,876
退職給付に係る資産	26,738	27,769
繰延税金資産	38,657	10,193
投資不動産	733,907	734,694
減価償却累計額	△126,375	△131,118
投資不動産（純額）	607,531	603,575
その他	526,357	556,642
投資その他の資産合計	1,729,040	1,974,058
固定資産合計	3,042,089	3,285,932
資産合計	7,284,908	7,465,337

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,465	98,026
未払法人税等	186,772	130,724
前受金	4,455	22,351
賞与引当金	109,776	142,558
役員賞与引当金	—	15,570
その他	266,170	320,528
流動負債合計	737,641	729,759
固定負債		
役員退職慰労引当金	306,363	313,294
繰延税金負債	—	759
その他	34,598	36,798
固定負債合計	340,962	350,853
負債合計	1,078,603	1,080,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,282	1,313,282
利益剰余金	3,950,997	4,058,001
自己株式	△173,233	△173,233
株主資本合計	6,058,047	6,165,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,923	166,082
為替換算調整勘定	50,905	40,459
退職給付に係る調整累計額	△17,672	△16,032
その他の包括利益累計額合計	90,156	190,509
新株予約権	31,598	—
非支配株主持分	26,502	29,163
純資産合計	6,206,305	6,384,724
負債純資産合計	7,284,908	7,465,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
売上高	2,638,146	3,037,344
売上原価	2,035,018	2,262,912
売上総利益	603,128	774,432
販売費及び一般管理費	458,202	516,411
営業利益	144,925	258,020
営業外収益		
受取利息	233	4,755
受取配当金	4,238	3,003
投資有価証券評価益	—	1,841
不動産賃貸料	14,908	21,891
雑収入	1,080	7,563
営業外収益合計	20,461	39,055
営業外費用		
支払利息	26	22
不動産賃貸費用	18,661	19,719
為替差損	14,372	2,405
雑損失	17	519
営業外費用合計	33,078	22,667
経常利益	132,308	274,408
特別利益		
固定資産売却益	—	809
有価証券売却益	4,876	—
新株予約権戻入益	774	31,598
特別利益合計	5,651	32,408
税金等調整前四半期純利益	137,959	306,816
法人税、住民税及び事業税	65,372	111,104
法人税等調整額	3,509	△8,701
法人税等合計	68,882	102,402
四半期純利益	69,076	204,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,761	2,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,315	201,753

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
四半期純利益	69,076	204,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,793	109,159
為替換算調整勘定	12,027	△10,446
退職給付に係る調整額	2,013	1,639
その他の包括利益合計	12,247	100,352
四半期包括利益	81,324	304,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,563	302,106
非支配株主に係る四半期包括利益	2,761	2,660

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,959	306,816
減価償却費	39,011	46,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,428	32,782
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	△50
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,412	6,931
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	703	1,332
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,930	—
受取利息及び受取配当金	△4,471	△7,758
支払利息	26	22
為替差損益(△は益)	△11,055	△7,187
固定資産売却損益(△は益)	—	△809
有価証券売却損益(△は益)	△4,876	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	△1,841
新株予約権戻入益	△774	△31,598
売上債権の増減額(△は増加)	358,336	△116,909
棚卸資産の増減額(△は増加)	△54,613	45,290
前受金の増減額(△は減少)	1,989	17,895
仕入債務の増減額(△は減少)	58,368	△72,439
その他	△230,204	13,820
小計	287,463	233,162
利息及び配当金の受取額	4,523	7,695
利息の支払額	△26	△22
法人税等の還付額	1,302	356
法人税等の支払額	△48,954	△151,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,308	89,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	217,982	187,322
有価証券の売却による収入	58,511	—
有形固定資産の取得による支出	△4,720	△28,301
有形固定資産の売却による収入	—	2,702
無形固定資産の取得による支出	△13,337	△12,818
投資有価証券の取得による支出	—	△200,000
投資不動産の取得による支出	—	△2,034
その他	△17	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	258,418	△53,126

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△47	—
配当金の支払額	△94,515	△94,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,562	△94,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,872	△2,613
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	431,037	△60,659
現金及び現金同等物の期首残高	908,650	1,643,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,339,687	1,582,832

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
ゲームソフト関連	1,499,786	—	1,499,786	—	1,499,786
モバイルコンテンツ関連	941,928	—	941,928	—	941,928
パチンコ・パチスロ関連	12,015	—	12,015	—	12,015
その他	—	184,416	184,416	—	184,416
顧客との契約から生じる収益	2,453,729	184,416	2,638,146	—	2,638,146
外部顧客への売上高	2,453,729	184,416	2,638,146	—	2,638,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,650	5,928	17,579	△17,579	—
計	2,465,380	190,345	2,655,725	△17,579	2,638,146
セグメント利益	102,682	42,243	144,925	—	144,925

(注)1 売上高の調整額△17,579千円はセグメント間取引の消去の額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
ゲームソフト関連	1,952,086	—	1,952,086	—	1,952,086
モバイルコンテンツ関連	894,539	—	894,539	—	894,539
パチンコ・パチスロ関連	—	—	—	—	—
その他	—	190,719	190,719	—	190,719
顧客との契約から生じる収益	2,846,625	190,719	3,037,344	—	3,037,344
外部顧客への売上高	2,846,625	190,719	3,037,344	—	3,037,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,461	3,003	10,465	△10,465	—
計	2,854,087	193,722	3,047,809	△10,465	3,037,344
セグメント利益	225,116	32,903	258,020	—	258,020

(注)1 売上高の調整額△10,465千円はセグメント間取引の消去の額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。